



本資料は、米国アッヴィ社が2024年7月25日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2024年7月31日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

## PRESS RELEASE

2024年7月31日

### アッヴィ、2024年度第2四半期の業績を発表

- 第2四半期の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、32.5%減の0.77ドル、調整後希薄化後EPSは8.9%減の2.65ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.52ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 第2四半期の売上高は、報告ベースで4.3%増、営業ベースで5.6%増の144億6,200万ドルでした。
- イムノロジー(免疫)領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで2.3%増、営業ベースで3.5%増の69億7,100万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、28億1,400万ドルでした。スキリージ®の売上高は、27億2,700万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、14億3,000万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで10.5%増、営業ベースで12.2%増の16億3,400万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、8億3,300万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、6億3,700万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで14.7%増、営業ベースで15.2%増の21億6,200万ドルでした。ポトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、8億1,400万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、7億7,400万ドルでした。UbrelyvyおよびQulipta(日本では未承認・未発売)の売上高は合わせて、3億8,100万ドルでした。
- エステティックス領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで0.5%増、営業ベースで2.8%増の13億9,000万ドルでした。ポトックス・コスメティックの売上高は、7億2,900万ドルでした。ジュビダームの売上高は、3億4,300万ドルでした。
- 2024年度における調整後希薄化後EPSのガイダンスは、10.61ドル-10.81ドルから10.71ドル-10.91ドルに引き上げます。これには、2024年第2四半期までに発生した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による1株当たり0.60ドルのマイナスの影響が含まれます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2024年7月25日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2024年第2四半期(2024年6月30日終了)の業績を発表しました。

アッヴィのCEOであるロバート・A・マイケルは、次のように述べています。「第2四半期は我々の予想を上回る結果となり、当社のビジネスは引き続き、きわめて好調です。ヒュミラ®以外の成長基盤の伸び、ビジネスへの継続的な投資およびパイプラインの進捗により、トップクラスの長期的見通しの実現に向けてとても良い状況にあります」



## 2024年第2四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで4.3%増、営業ベースで5.6%増の144億6,200万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の売上高は、報告ベースで2.3%増、営業ベースで3.5%増の69億7,100万ドルでした。
  - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで29.8%減、営業ベースで28.9%減の28億1,400万ドルでした。米国での売上高は、31.6%減の23億6,000万ドルで、米国外では報告ベースで18.9%減、営業ベースで12.5%減の4億5,400万ドルでした。
  - スキリージ®の売上高は、報告ベースで44.8%増、営業ベースで45.6%増の27億2,700万ドルでした。
  - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで55.8%増、営業ベースで59.2%増の14億3,000万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の売上高は、報告ベースで10.5%増、営業ベースで12.2%増の16億3,400万ドルでした。
  - イムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は8.2%減の8億3,300万ドルで、その内訳は、米国内が5億9,500万ドル、米国外が2億3,800万ドルでした。
  - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで11.5%増、営業ベースで15.8%増の6億3,700万ドルでした。
  - Elahere(日本で未承認・未発売)の売上高は1億2,800万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の売上高は、報告ベースで14.7%増、営業ベースで15.2%増の21億6,200万ドルでした。
  - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで8.7%増、営業ベースで9.6%増の8億1,400万ドルでした。
  - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、17.6%増の7億7,400万ドルでした。
  - Ubrelvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、17.5%増の2億3,100万ドルでした。
  - Qulipta(日本で未承認・未発売)の売上高は、56.3%増の1億5,000万ドルでした。
- エステティックス領域の売上高は、報告ベースで0.5%増、営業ベースで2.8%増の13億9,000万ドルでした。
  - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで6.4%増、営業ベースで8.6%増の7億2,900万ドルでした。
  - ジュビダームの売上高は、報告ベースで6.8%減、営業ベースで3.1%減の3億4,300万ドルでした。
- GAAPベースで、売上総利益率は70.9%でした。調整後売上総利益率は85.2%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、23.3%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は22.9%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、13.5%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、13.3%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は6.5%でした。



- GAAP ベースで、営業利益率は 27.6%でした。調整後営業利益率は 42.6%でした。
- 純支払利息は 5 億 600 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 36.0%でした。調整後の税率は、18.8%でした。
- 希薄化後 EPS は、GAAP ベースで 0.77ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、2.65ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.52ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

[https://news.abbvie.com/2024-07-25-AbbVie-Reports-Second-Quarter-2024-Financial-Results?\\_gl=1\\*v5dyyq\\*\\_ga\\*NDU2NjkyNTlyLjE3MjEzMDU0NjY.\\*\\_ga\\_5LEXD56YGK\\*MTcyMjIwMTgwOC4xMy4wLjE3MjIyMDE4MTQuMC4wLjA.\\*\\_fplc\\*QyUyRm53TEw3UHVPpRFglMkJKOUFET3A1MEpjQVZ4Vk5XRFU5RDQzeco5OUZQdnIqS3h3V3dCbGpsSIFlaU9TZ3FVRXR0b2EIMkjrQmR5eGwIMkZCbjk0SExlQTBLZUZrZng2NkRQanJmYUU5WjdHYWVIZnkIMkY4WFRxNDdLeFhiQVRDc242QSUzRCUzRA.&\\_ga=2.19512251.281731688.1722201810-456692522.1721305466](https://news.abbvie.com/2024-07-25-AbbVie-Reports-Second-Quarter-2024-Financial-Results?_gl=1*v5dyyq*_ga*NDU2NjkyNTlyLjE3MjEzMDU0NjY.*_ga_5LEXD56YGK*MTcyMjIwMTgwOC4xMy4wLjE3MjIyMDE4MTQuMC4wLjA.*_fplc*QyUyRm53TEw3UHVPpRFglMkJKOUFET3A1MEpjQVZ4Vk5XRFU5RDQzeco5OUZQdnIqS3h3V3dCbGpsSIFlaU9TZ3FVRXR0b2EIMkjrQmR5eGwIMkZCbjk0SExlQTBLZUZrZng2NkRQanJmYUU5WjdHYWVIZnkIMkY4WFRxNDdLeFhiQVRDc242QSUzRCUzRA.&_ga=2.19512251.281731688.1722201810-456692522.1721305466)

## アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。X(旧 Twitter)、[Facebook](#)、[Instagram](#) や [YouTube](#) や [LinkedIn](#) でも情報を公開しています。

## Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, risks related to the proposed acquisition of Cerevel Therapeutics, including the possibility that the acquisition may not be consummated on the anticipated timeframe or at all, risks related to the ability to realize the anticipated benefits of the proposed acquisition on the anticipated timeframe or at all, risks that the costs to consummate the proposed acquisition or to obtain the anticipated benefits of the proposed acquisition could be greater than expected, the risk that an event occurs that could give rise to the right of AbbVie, on the one hand, or Cerevel Therapeutics, on the other hand, to terminate the acquisition agreement for such transaction, the risk that the business will not be integrated successfully, disruption from the proposed acquisition making it more difficult to maintain business and operational relationships, the diversion of management's attention from ongoing business operations and opportunities, negative effects of the consummation of the proposed acquisition on business or employee relationships or the



market price of the Company's common stock and/or operating results, significant transaction costs, the assumption of unknown liabilities, the risk of litigation and/or regulatory actions related to the proposed acquisition of Cerevel Therapeutics's business, risks related to the financing of the proposed acquisition, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's and Cerevel Therapeutics's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information; Item 1A, "Risk Factors," of Cerevel Therapeutics's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that Cerevel Therapeutics subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.